

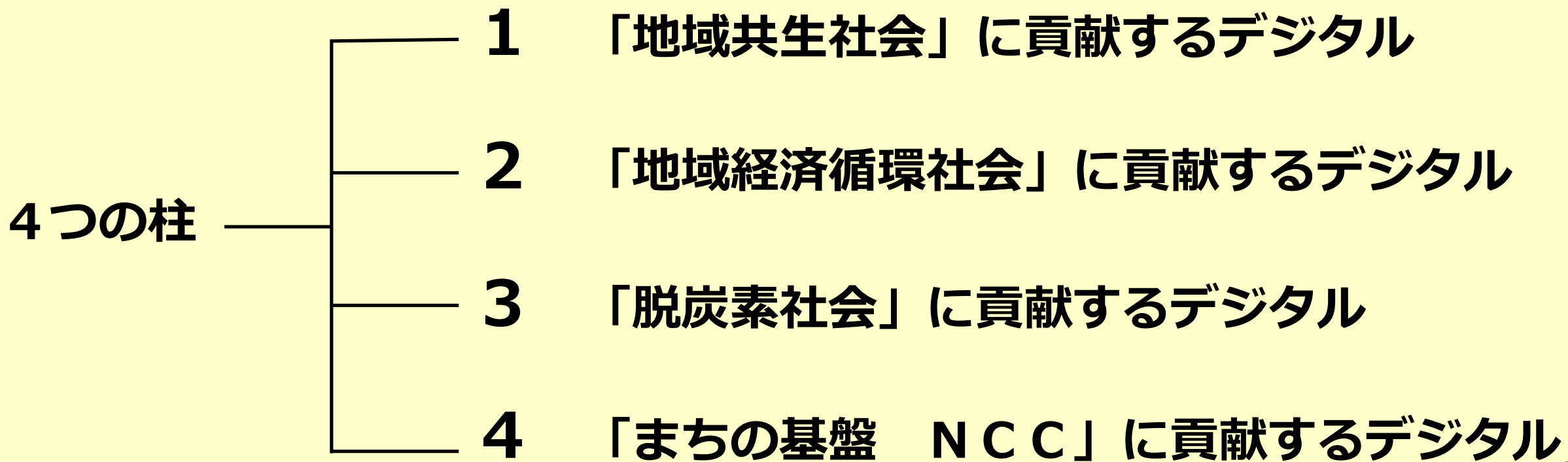
第5章 デジタル活用の方向性（柱）



第5章 デジタル活用の方向性（柱）

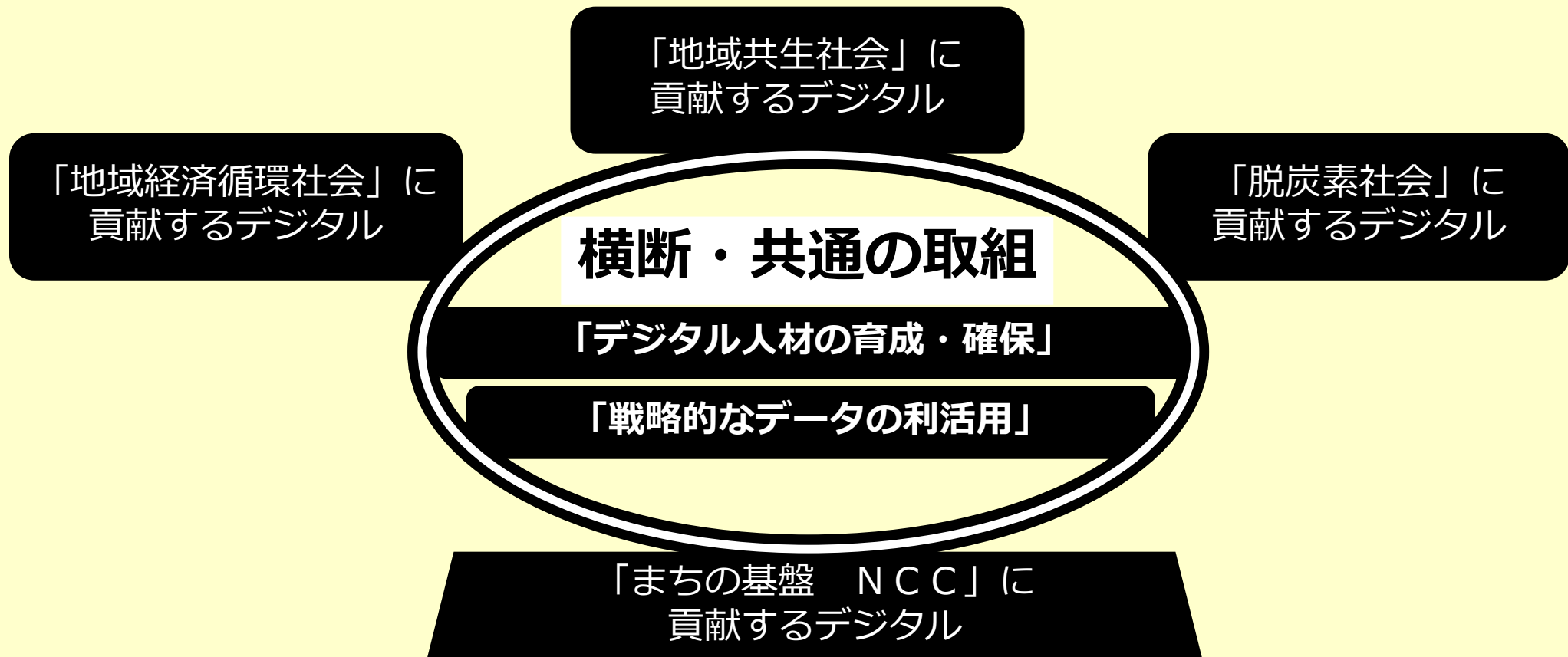
序章 策定の趣旨	1章 デジタル化の動向	2章 デジタル化の現状	3章 デジタル活用に係る主要な課題
4章 デジタル活用の基本理念	5章 デジタル活用の方向性（柱）	6章 デジタル活用の基本方針	7章 デジタル活用の推進に向けて

- ここでは、「デジタル活用の基本理念」に基づき、本市の目指す「スーパースマートシティ」における「3つの社会」と「NCC」を柱とし、各社会などに貢献すると考えられるデジタル活用の方向性を示します。
- 「スーパースマートシティ」は官民の各主体がデジタルを効果的に活用することで実現するものであることから、「目指す社会像」に資するデジタル活用のポイントを示します。
- 地域全体でのビジョンの共有に向けて、「5年後までに実装を目指すデジタルを活用した取組」やイラストなどを活用した「具体的な絵姿」を示します。



序章 策定の趣旨	1章 デジタル化の動向	2章 デジタル化の現状	3章 デジタル活用に係る主要な課題
4章 デジタル活用の基本理念	5章 デジタル活用の方向性（柱）	6章 デジタル活用の基本方針	7章 デジタル活用の推進に向けて

「デジタル活用の方向性（柱）」に基づき、あらゆる分野でデジタルを効果的に活用していくためには、それぞれの分野でデジタル化をけん引し、実装・活用することができる「デジタル人材」が必要不可欠であるとともに、デジタル化の進展による多様かつ膨大なデータを新たな価値創造の源泉として捉え、戦略的に利活用していくことがデジタル社会を形成していく上で重要な礎となることから、全分野に共通する「デジタル人材の育成・確保」及び「戦略的なデータの利活用」を『横断・共通の取組』として位置付けます。



序章 策定の趣旨	1章 デジタル化の動向	2章 デジタル化の現状	3章 デジタル活用に係る主要な課題
4章 デジタル活用の基本理念	5章 デジタル活用の方向性（柱）	6章 デジタル活用の基本方針	7章 デジタル活用の推進に向けて

1 「地域共生社会」に貢献するデジタル

「人」中心の社会にあらゆる側面からデジタルを活用していく。

地域共生社会の目指す社会像

NCCの強みを生かし、性別や国籍、障がいの有無などに関わらず、子どもから高齢者まで、誰もが生きがいを持ち、住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせるとともに、地域に思いやりがあふれ、絆を深めながら、孤独や孤立に寄り添い、支えられる社会を目指しています。



目指す社会像の実現に資するデジタル活用のポイント

地域共生社会の実現に向け、デジタルデバイド対策等を通じて、個人の属性に関わらず、誰もがつながりを持ち、支え合うことができる環境づくりや、地域のまちづくりを担う地域コミュニティの活性化など、「人」中心の社会にあらゆる側面からデジタルを効果的に活用していきます。

序章 策定の趣旨	1章 デジタル化の動向	2章 デジタル化の現状	3章 デジタル活用に係る主要な課題
4章 デジタル活用の基本理念	5章 デジタル活用の方向性（柱）	6章 デジタル活用の基本方針	7章 デジタル活用の推進に向けて

1 「地域共生社会」に貢献するデジタル

概ね5年後までに実装を目指す取組

(1) 支え合える社会づくり

- SNS等からのオンライン相談や個人の状況にあった情報提供など、双方向でやりとりできる取組
- オンライン空間（メタバース等）を活用した新たな「居場所」づくり
- 地域における災害情報の迅速な共有や位置情報等を活用した見守り活動の充実
- コミュニケーションロボット等を活用した高齢者等の認知症対策に資する取組

(2) 健康で自分らしい生活ができる社会づくり

- ヘルスケアデータ（PHR）等の分析・活用した取組や、運動量や生活習慣の可視化による健康づくり

具体的な取組の絵姿（イメージ）



序章 策定の趣旨	1章 デジタル化の動向	2章 デジタル化の現状	3章 デジタル活用に係る主要な課題
4章 デジタル活用の基本理念	5章 デジタル活用の方向性（柱）	6章 デジタル活用の基本方針	7章 デジタル活用の推進に向けて

1 「地域共生社会」に貢献するデジタル

概ね5年後までに実装を目指す取組

（3）時間や場所の制約なくサービスを利用できる社会づくり

- スマートフォン等からいつでもどこでも様々な手続き等ができる取組
- 多言語音声技術や遠隔通訳サービスの活用など、個人の属性に関わらず誰もがつながることができる環境づくり

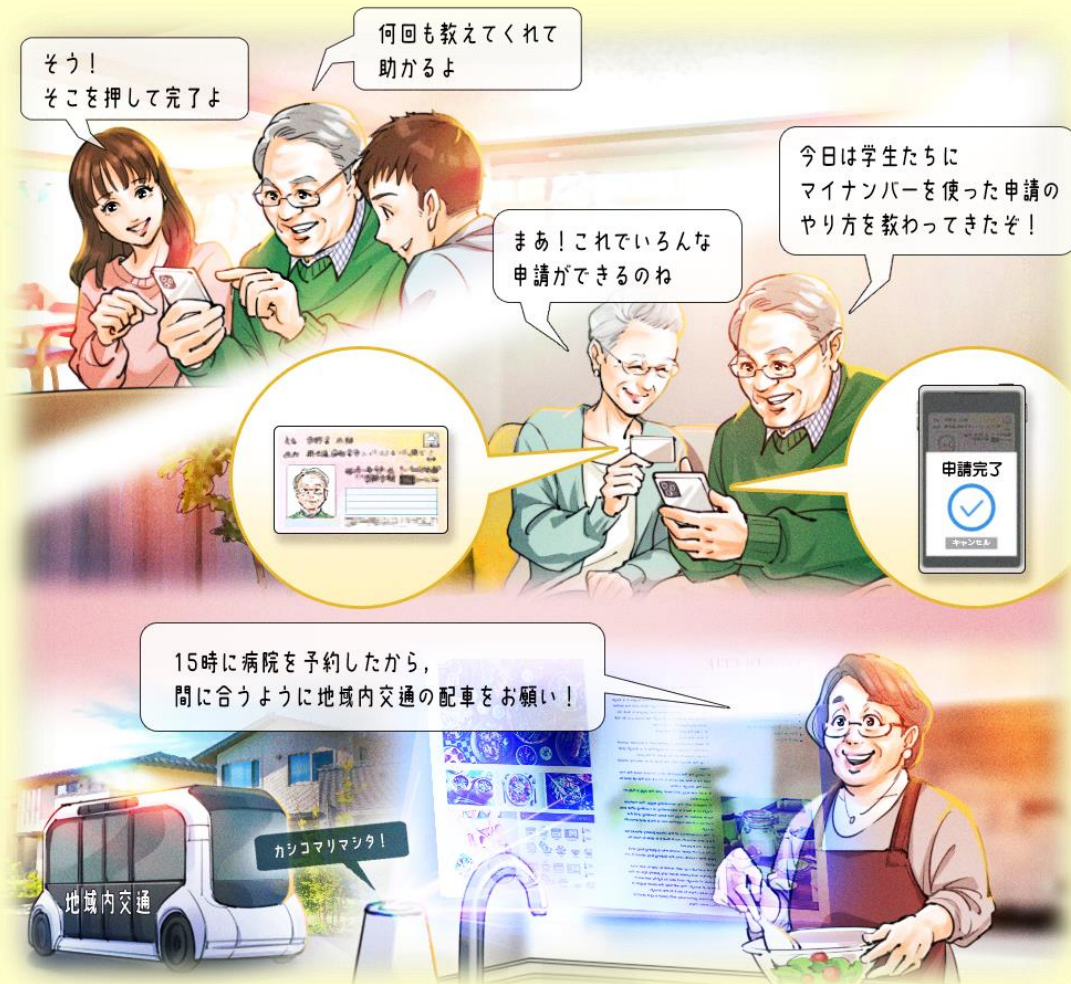
（4）地域で学び活発に活動できる社会づくり

- デジタルを活用した学びの環境づくり
- 地域活動におけるアプリやWebサービス等の導入・活用

（5）デジタルに不慣れな人にも優しい社会づくり

- スマホ講座の開催など多様な主体と連携・協働した取組
- 基礎的なデジタルリテラシーの周知啓発等の充実
- 高度な知識なくともデジタルの恩恵を受けられる環境づくり

具体的な取組の絵姿（イメージ）



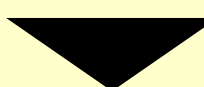
序章 策定の趣旨	1章 デジタル化の動向	2章 デジタル化の現状	3章 デジタル活用に係る主要な課題
4章 デジタル活用の基本理念	5章 デジタル活用の方向性（柱）	6章 デジタル活用の基本方針	7章 デジタル活用の推進に向けて

2 「地域経済循環社会」に貢献するデジタル

地域における魅力や賑わいと「新たな価値」の創出のために、デジタルを活用していく。

地域経済循環社会の目指す社会像

女性や高齢者、障がい者、外国人など誰もが自分の力を最大限に発揮することができるとともに、地域の事業者の成長や地域内での消費・需要の拡大を図るほか、次世代産業の集積や起業支援、大谷やプロスポーツ等の地域資源の活用などにより高い付加価値を創出し、モノやヒトの交流をNCCが促進することで、地域内において経済が循環する豊かな社会を目指しています。



目指す社会像の実現に資するデジタル活用のポイント

地域経済循環社会の実現に向け、地域における魅力や賑わいと「新たな価値」を創出するために、地域経済を支える中小企業等の経営改革による生産性の向上や新たなイノベーションの創出など、デジタルを積極的かつ効果的に活用していきます。

序章 策定の趣旨	1章 デジタル化の動向	2章 デジタル化の現状	3章 デジタル活用に係る主要な課題
4章 デジタル活用の基本理念	5章 デジタル活用の方向性（柱）	6章 デジタル活用の基本方針	7章 デジタル活用の推進に向けて

2 「地域経済循環社会」に貢献するデジタル

概ね5年後までに実装を目指す取組

（1）新たなイノベーション等を創出できる社会づくり

- スタートアップ企業等におけるデジタル活用を加速化する取組
- I T企業等の集積による地域経済の活性化
- 地域経済の循環に資するデジタル地域通貨等の取組
- 地域活性化に向けたN F T等を活用した取組

（2）全ての事業者がDXを推進できる社会づくり

- 中小企業等における更なるデジタル活用を促進する取組
- 地場の商業・サービス業におけるデジタルサービスの利用拡大につながる取組
- 先端技術を用いた生産性向上や省力化・高品質生産につながるスマート農業
- 事業者のデジタル化をサポートする伴走型支援等の取組
- キャッシュレス環境の更なる普及に向けた取組
- オンライン空間（メタバース等）を活用した新たな就労環境づくり

具体的な取組の絵姿（イメージ）



序章 策定の趣旨	1章 デジタル化の動向	2章 デジタル化の現状	3章 デジタル活用に係る主要な課題
4章 デジタル活用の基本理念	5章 デジタル活用の方向性（柱）	6章 デジタル活用の基本方針	7章 デジタル活用の推進に向けて

2 「地域経済循環社会」に貢献するデジタル

概ね5年後までに実装を目指す取組

(3) 来訪者等の利便性等が向上する社会づくり

- 観光拠点等におけるARやVR, MRなどの先進技術等を活用した臨場感等のある質の高いサービスの提供
- 回遊性の向上に資する混雑状況等の見える化等の取組
- 生体認証技術等を活用した多様なサービス提供
- MICE振興に寄与するプロモーションツール等の充実

具体的な取組の絵姿（イメージ）



序章 策定の趣旨	1章 デジタル化の動向	2章 デジタル化の現状	3章 デジタル活用に係る主要な課題
4章 デジタル活用の基本理念	5章 デジタル活用の方向性（柱）	6章 デジタル活用の基本方針	7章 デジタル活用の推進に向けて

2 「地域経済循環社会」に貢献するデジタル

概ね5年後までに実装を目指す取組

（4）都市ブランドが高められる社会づくり

- 世界的なスポーツイベント等における5Gなど高規格通信技術を活用した取組

- 貴重な文化財のデジタルアーカイブ化等による保存・継承や文化・社会教育活動等におけるデジタルとリアルを融合した取組など、文化芸術を身近に感じ、魅力を高めるサービス等の充実

具体的な取組の絵姿（イメージ）



序章 策定の趣旨	1章 デジタル化の 動向	2章 デジタル化の 現状	3章 デジタル活用に 係る主要な課題
4章 デジタル活用の 基本理念	5章 デジタル活用の 方向性（柱）	6章 デジタル活用の 基本方針	7章 デジタル活用の 推進に向けて

3 「脱炭素社会」に貢献するデジタル

事業活動や日常生活などあらゆる場面でデジタルを活用していく。

脱炭素社会の目指す社会像

移動しやすく歩いて暮らせるNCCや本市独自の「もったいない」のこころの下、公共交通の利用などによる、脱炭素型ライフスタイルの推進や再生可能エネルギーの地産地消、森林保全などにより、「カーボンニュートラル」を実現し、100年先も輝き続けられる宇都宮を将来世代に残すことができる社会を目指しています。



目指す社会像の実現に資するデジタル活用のポイント

脱炭素社会の実現に向け、事業活動等における温室効果ガス排出状況の「見える化」やエネルギーマネジメントの「最適化」による省エネ化、日常生活における積極的な公共交通の利用、場所に捉われない多様な働き方の実践などによる排出ガスの削減など、事業活動や日常生活などあらゆる場面でデジタルを効果的に活用していきます。

序章 策定の趣旨	1章 デジタル化の動向	2章 デジタル化の現状	3章 デジタル活用に係る主要な課題
4章 デジタル活用の基本理念	5章 デジタル活用の方向性（柱）	6章 デジタル活用の基本方針	7章 デジタル活用の推進に向けて

3 「脱炭素社会」に貢献するデジタル

概ね5年後までに実装を目指す取組

（1）再生可能エネルギーの導入と活用が進む社会づくり

- 温室効果ガス排出状況を把握・可視化する取組
- AI等を活用したエネルギーマネジメントシステム（EMS）の構築による最適化
- グリーントランスフォーメーション（GX）の実現に向けた先進技術等を活用した取組
- 再生可能エネルギーの自家消費や地域新電力会社による地産地消の推進
- 森林の適正な管理におけるデジタル技術を活用した取組

具体的な取組の絵姿（イメージ）



序章 策定の趣旨	1章 デジタル化の動向	2章 デジタル化の現状	3章 デジタル活用に係る主要な課題
4章 デジタル活用の基本理念	5章 デジタル活用の方向性（柱）	6章 デジタル活用の基本方針	7章 デジタル活用の推進に向けて

3 「脱炭素社会」に貢献するデジタル

概ね5年後までに実装を目指す取組

(2) エコで便利なライフスタイル等が定着する社会づくり

- L R T 沿線エリアにおける脱炭素化に向けた先進技術等を活用した取組
- 地域連携 I C カード「t o t r a」を活用した移動・交通サービスの充実（地域独自サービスの充実）
- シェアリングエコノミー（カーシェア等）の利用を促進する取組
- 電気自動車（E V）の普及に向けた取組
- オンラインを通じて仕事や打合せ等ができる環境づくり
- A I やクラウドサービス等を活用した業務の効率化や生産性の向上による省エネ化の取組

具体的な取組の絵姿（イメージ）



序章 策定の趣旨	1章 デジタル化の動向	2章 デジタル化の現状	3章 デジタル活用に係る主要な課題
4章 デジタル活用の基本理念	5章 デジタル活用の方向性（柱）	6章 デジタル活用の基本方針	7章 デジタル活用の推進に向けて

4 「まちの基盤 NCC」に貢献するデジタル

市民生活の質や都市としての価値・活力を高めていくために、デジタルを活用していく。

「NCC」の目指すまちの姿

中心部や地域拠点等に市民生活を支える様々なまちの機能が充実した拠点を形成し、その利便性が共有できるよう、拠点間や拠点とその周辺が公共交通などのネットワークで結ばれた便利で暮らしやすく持続可能なまちを目指しています。



目指すまちの実現に資するデジタル活用のポイント

まちの基盤となるNCCの実現に向け、市民が安全・安心に暮らせるまちづくりや、利便性や快適性の高い公共交通ネットワークの構築、データを活用したまちの最適化など、市民生活の質や都市としての価値・活力を高めるために、デジタルを効果的に活用していきます。

序章 策定の趣旨	1章 デジタル化の動向	2章 デジタル化の現状	3章 デジタル活用に係る主要な課題
4章 デジタル活用の基本理念	5章 デジタル活用の方向性（柱）	6章 デジタル活用の基本方針	7章 デジタル活用の推進に向けて

4 「まちの基盤 NCC」に貢献するデジタル

概ね5年後までに実装を目指す取組

（1）誰もが円滑に移動できる交通環境づくり

- 地域連携ICカード「totra」を活用した移動・交通サービスの充実（地域独自サービスの充実）
- 宇都宮版MaasやAI等を活用した地域内交通ネットワークの最適化
- 次世代モビリティサービス（自動運転やパーソナルモビリティ等）の走行実証等

（2）市民等の利便性や快適性が向上する都市基盤づくり

- 観光・交通・商業等の情報を発信するデジタルツールの整備や通信環境等の充実

具体的な取組の絵姿（イメージ）



序章 策定の趣旨	1章 デジタル化の動向	2章 デジタル化の現状	3章 デジタル活用に係る主要な課題
4章 デジタル活用の基本理念	5章 デジタル活用の方向性（柱）	6章 デジタル活用の基本方針	7章 デジタル活用の推進に向けて

4 「まちの基盤 NCC」に貢献するデジタル

概ね5年後までに実装を目指す取組

(3) 安全・安心に暮らすことができる都市基盤づくり

- 更なる都市機能の高度化に向けた3D都市モデルやセンシング技術等を活用した取組
- カメラやAI活用による犯罪・事故抑制，地域防犯力の向上に資する取組
- ドローン，センサー，人工衛星等の活用やAIによる分析・予測に基づくインフラ管理等の効率化及び安全対策の強化

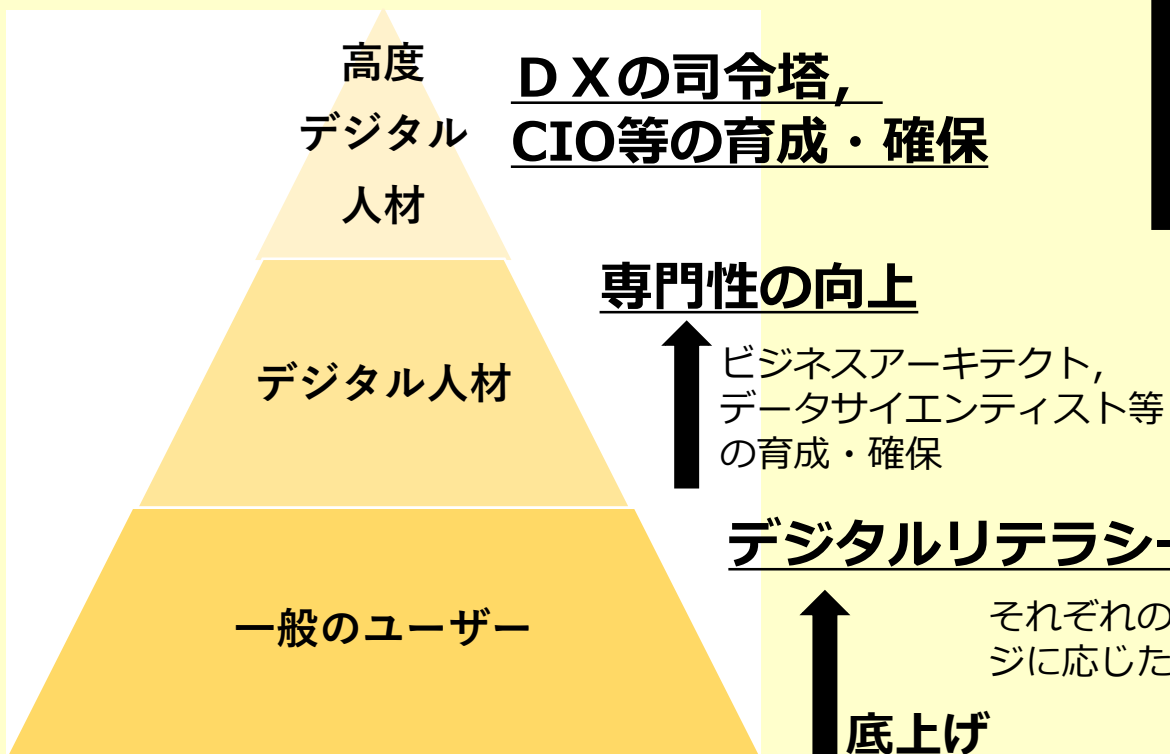
具体的な取組の絵姿（イメージ）



序章 策定の趣旨	1章 デジタル化の動向	2章 デジタル化の現状	3章 デジタル活用に係る主要な課題
4章 デジタル活用の基本理念	5章 デジタル活用の方向性（柱）	6章 デジタル活用の基本方針	7章 デジタル活用の推進に向けて

横断・共通の取組 「デジタル人材の育成・確保」

「デジタル人材」については、専門的なデジタル知識・能力を有し、デジタルの実装をけん引できる人材（高度デジタル人材）を育成・確保することと、デジタル分野の基礎的な能力（デジタルリテラシー）を向上させ、人材全体の底上げを図ることの両面から取組を進めていく必要があります。



「デジタル人材」を地域で育成するために、デジタルスキルを習得できる環境づくりや、高度デジタル人材のシェアリング等の効果的な活用に向けた仕組みづくりなど、市・事業者・大学等が連携・協力しながら、地域社会で活躍できるデジタル人材の育成・確保に取り組んでいきます。

序章 策定の趣旨	1章 デジタル化の動向	2章 デジタル化の現状	3章 デジタル活用に係る主要な課題
4章 デジタル活用の基本理念	5章 デジタル活用の方向性（柱）	6章 デジタル活用の基本方針	7章 デジタル活用の推進に向けて

「デジタル人材の育成・確保」

概ね5年後までに実装を目指す取組

（1）デジタルスキルを習得できる環境づくり

- デジタルを活用した学びの環境づくり
- リスキングやリカレント教育など、個人がデジタルスキルを習得できる環境づくり
- 基礎的なデジタルリテラシーの周知啓発に係る取組の充実

（2）デジタルスキルが活かせる仕組みづくり

- 外部人材の効果的な活用
- デジタル人材のシェアリング等の取組
- デジタル技術への次世代（小中高生）の関心を高める取組

具体的な取組の絵姿（イメージ）



序章 策定の趣旨	1章 デジタル化の動向	2章 デジタル化の現状	3章 デジタル活用に係る主要な課題
4章 デジタル活用の基本理念	5章 デジタル活用の方向性（柱）	6章 デジタル活用の基本方針	7章 デジタル活用の推進に向けて

横断的・共通の取組 「戦略的なデータの利活用」

**解決すべき課題や目的を明確にし、
官民連携により取組を推進していく。**

- デジタル化により収集された多様なデータを分析・活用し、顧客等の実態に合った、より付加価値の高いサービス提供を行っていきます。
- また、データの利活用にあたっては、あらゆる分野における「地域課題の解決」や「新たな価値」の創出に向け、解決すべき課題や目的を明確にし、必要なデータを収集・分析・活用していくことを念頭に置いた上で、多様なデータを連携させる基盤の構築や個人情報等の取扱いルールの整備など、必要な要素を構造化した「アーキテクチャ」の構築を始め、官民が連携した戦略的なデータの利活用に取り組んでいきます。

序章 策定の趣旨	1章 デジタル化の 動向	2章 デジタル化の 現状	3章 デジタル活用に 係る主要な課題
4章 デジタル活用の 基本理念	5章 デジタル活用の 方向性（柱）	6章 デジタル活用の 基本方針	7章 デジタル活用の 推進に向けて

「戦略的なデータ利活用」

データを安全・安心に活用できる仕組みづくりを

プライバシー保護・透明性

個人情報保護に係る関係法令等を遵守し、透明性の高いルールと手続きに従い、本人同意に基づく個人情報の取得及び提供（オプトイン）など、プライバシーの確保を徹底します。

セキュリティの確保

サイバー攻撃などに対応した強固な情報セキュリティ対策を実施します。

相互運用性・オープン性

地域・システム・分野の壁を越えたデータの連携、スマートフォンアプリ等のサービスの連携・統合などにより、相互運用性を確保し、サービスの全体最適化と新たな価値の創出を図ります。

序章 策定の趣旨	1章 デジタル化の動向	2章 デジタル化の現状	3章 デジタル活用に係る主要な課題
4章 デジタル活用の基本理念	5章 デジタル活用の方向性（柱）	6章 デジタル活用の基本方針	7章 デジタル活用の推進に向けて

「戦略的なデータ利活用」

概ね5年後までに実装を目指す取組

誰もがデータを利活用できる社会づくり

- オープンデータの更なる活用を促進する取組の充実
- あらゆる分野におけるデジタルマーケティングの活用
- データ利活用人材（データサイエンティスト等）の育成
- データ活用に係るセキュリティ対策の強化
- 多様なデータの取得手段の充実
- 官民でのデータ連携の推進に係るルールづくり
- 官民のデータを連携する都市OS等の実証・導入

具体的な取組の絵姿（イメージ）

